

事業計画書

事業名	こどものための性教育『いのちのおはなし』
実施場所	沼津市内の幼稚園、保育園、こども園
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 令和8年 9月 15日 ～ 令和9年 3月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

幼稚園年中・年長児を対象に、からだといのちを大切にする力を育む性教育を行っていく。プライベートゾーンの理解を深め、受精卵の大きさや妊娠から出産までを劇で体験的に学ぶ。さらに赤ちゃん人形の抱っこ体験を通して、思いやりや自己肯定感、いのちの大切さを学ぶ。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

沼津市では、性やからだに関する正しい知識を幼少期から学ぶ機会が限られている。また、核家族化や地域のつながりの希薄化により、いのちや出産に触れる体験も減少している。本事業は、幼児期からいのちの大切さと自分を守る力を育むことを目的とする。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
R8.9.15以降	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。 （準備） ・沼津市内の幼稚園、保育園、こども園に電話連絡をし、講義を行う園を決定する。（R8.9.15～R9.3.31の間に5園ほど） ・決定した園と順次日程を調整する。 ・赤ちゃん人形や講義に必要な物品の購入 ・講義用教材の作成 ・講義内容を園の意向を聞きながら調整・修正 ・スタッフ間で講義内容の打ち合わせ、講義練習 ・講義1週間前に、該当幼稚園に日程確認の電話連絡を行う （講義） ・当日、該当幼稚園へ出張する ・幼稚園で、会場の準備をする ・担当の先生と打ち合わせを行う ・園児へ講義を行う 講義内容 ①プライベートゾーン（所要時間：10分） パネルを使用し、男の子と女の子の違いやプライベートゾーンの説明をする。プライベートゾーンは自分だけの大切なところ。自分以

	外の人には『見せない』『触らせない』。もしも、「見せて」と言われたときの対処法、性器の正しい洗い方などを説明する。 ②お腹の中の赤ちゃん（所要時間：１０分） 赤ちゃんモデル、胎盤と臍帯模型を使用し、お腹の中の赤ちゃんはどのように入っていて、どうやって栄養をもらって大きくなるのか説明する。受精卵の大きさ、そこから成長した赤ちゃんの大きさを視覚的に分かりやすく伝える。 ③妊娠からお産までの劇（所要時間：２０分） お腹の中に赤ちゃんができてから、お母さんから栄養をもらって成長し、助産院で出産するまでの命の誕生を園児参加型の劇形式で見せる。ナレーション：古田、助産師役：山下、母役：杉山、父役：先生、赤ちゃん：園児、胎盤さん：園児。 『母や家族が頑張るのは、あなたを生まれる前から愛しているから。だからあなたは自分のことを大切にしていね』というメッセージを込める。 （講義後） ・会場の片付け ・担当の先生へ、講義のアンケートをお願いする ・アンケートをもとに、改善点を見いだし都度内容を改善していく。
--	---

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。 ・ 幼少期から、自分のからだを守る意識や他者との適切な関係を育むことにつながる ・ こどもの自己肯定感の向上につながる			
成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。 ・ 保育士へのアンケートで「こども同士や保育者に対して、いのちや体について話す姿がみられた」という項目で、そう思うという意見が80%以上になる	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。 ・ 保育士へのアンケート ・ 保護者が参加した場合、保護者用のアンケートを記入してもらう

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的 必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。 <u>沼津市内において、幼児を対象とした性教育プログラムは限定的であり、継続的に学ぶ機会は少ないと言えます。</u>また近年、子どもたちが様々な情報に触れる機会が増える一方で、命や身体の大切さ、自分や他者を尊重することについて学ぶ機会は十分とは言えません。家庭によって学ぶ機会に差があることも課題となっています。 本事業は、子どもたちが命の大切さや身体について学び、自分自身と他者を大
------------	---

	切にする心を育むことを目的としています。さらに、学びを家庭へ持ち帰ることで親子の対話を促し、家庭や地域で子どもの成長を支えるきっかけづくりにつなげます。 子どもの健全育成や地域の子育て環境の充実に貢献し、子どもたちが安心して過ごせるまちづくりにつながる事業です。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。 本事業は、子どもたちへの学びの提供だけでなく、家庭や教育機関、地域住民とのつながりを大切にしながら進める取組です。 沼津市含め、現代の子育ての孤立化や地域とのつながりの希薄化が課題となる中、子どもたちが命や身体の大切さについて学ぶ機会を通して、家庭での対話を促し、保護者や地域の大人が子どもの成長を見守り支えるきっかけづくりを目指します。 また、<u>幼稚園や保育園、認定こども園などの地域の教育機関と連携しながら実施することで、地域全体で子どもの健やかな成長を支える環境づくりにつなげます。</u> 子ども・家庭・教育機関をつなぐ役割を担い、地域の子育て力の向上と、子どもたちが安心して成長できるまちづくりに貢献する取組です。
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。 本事業は、知識を一方向的に伝えるだけではなく、子どもたちが実際に考え、<u>体験しながら学べる参加型のプログラムである点に特徴があります。</u> 例えば、「プライベートゾーン」については子どもたち自身が考えながら学ぶ対話形式を取り入れています。また、「お産までの劇」や「赤ちゃん人形を使った体験」を通して、命の誕生や”自分がどれだけ家族の愛情を受けて生まれてきたのか”を感じられるよう工夫しています。知識だけでなく、実感を伴った学びにつなげていることが本事業の大きな特徴です。 さらに、<u>手作りのオリジナル教材を使用することで、年齢に沿った、視覚的に分かりやすく温かみのある授業に仕上げます。</u> 本事業では助産師としての専門性を生かした性教育に加え、「自分を守る力」と「他者を大切にする心」を育むことを重視しています。防犯教育や命の教育、人権教育の視点を取り入れながら、子どもたちが自分らしく安心して成長できる力を育むことを目指しています。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 本事業は、これまでの小規模な講座や地域活動で得た経験を基に計画しており、無理のない事業内容と実施体制を整えています。 実施にあたっては、教育機関や関係団体と連携しながら進めるとともに、対象年齢に応じた内容や進行方法を工夫し、子どもたちが安心して参加できる環境づくりに努めます。 また、事前準備から実施、振り返りまで段階的なスケジュールを設定しており、

	講座で使用する教材や備品についても必要な準備を進めています。 予算についても事業内容に合わせて適切に計画しており、限られた資源を有効に活用しながら事業を実施する予定です。 助産師としての経験を生かしながら、関係機関との連携のもと着実に事業を進め、継続的な活動につなげていきます。
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。 本事業は、子どもたちが命や身体の大切さについて学ぶだけでなく、その学びを家庭へ持ち帰り、親子の対話につながることを目指しています。<u>また、保護者や教育機関との連携を通して、子どもを見守り支える意識が沼津市全体に広げることが期待されます。</u> 今後は、幼稚園や保育園、認定こども園などでの実施機会を増やし、より多くの子どもたちや保護者に学びの機会を提供していきたいと考えています。また、実施後のアンケートや意見を参考にしながら内容の改善を重ね、継続的な活動につなげていきます。 事業の継続に向けては、参加費や講演依頼による収入のほか、<u>既存の子育てサークルや団体との連携などを検討し、安定した運営体制の構築に取り組みます。</u>本事業を通して、子どもたちが自分自身と他者を大切にする心を育み、<u>沼津市全体で子どもの成長を支える環境づくりへと発展させていきたいと考えています。</u>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

次年度以降は、本事業で得られた経験や参加者からの意見をもとに内容の充実を図りながら、幼稚園・保育園・認定こども園等での実施機会を増やしていきたいと考えています。

その際、幼稚園・保育園・認定こども園等から講師料をいただきながら運営していきます。

また、子ども向け講座に加え、保護者や地域住民を対象とした講座の開催も検討し、命や身体の大切さについて家庭や地域全体で考える機会づくりを進めていきます。

今後も教育機関や地域団体との連携を深めながら、継続的に活動を実施し、子どもたちが安心して成長できるまちづくりに貢献していきます。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。